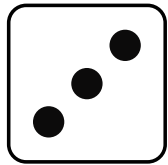


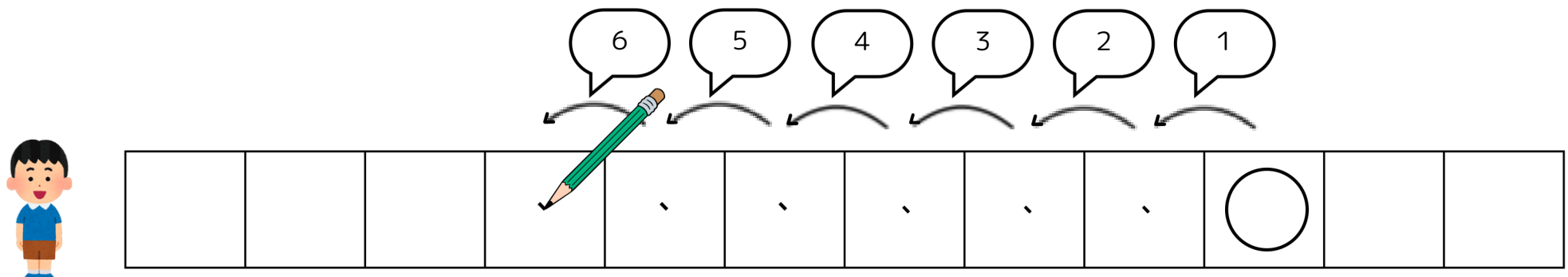
例題 ライオンがすごろくをしています。上に描かれたサイコロの目が出たとき、ライオンはどのますに進みますか。ライオンが進むますに、丸をつけましょう。



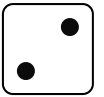
--	--	--	--	--	--	--	--

ポイント解説 ～すごろくの進み方（４）～

すごろくの逆思考タイプの問題です。サイコロが２つ以上になると、ある程度の思考力が必要になってきます。この問題は、次の２通りの解き方で解くことができます。１つ目は、任意の数で試行してみる方法です。例えば、「６」が出たことを想定してみると、残りが「４」になるので、「６」と「４」であることがわかります（下図参照）。この方法は、たし算を使わずに問題が解けること、サイコロの数が増えても同じ方法が使えることなどのメリットがあります。なお、この問題のように明らかに進んだまですが多いときは、大きい数から考えるのがよいでしょう。もう１つは、数の和を考える方法です。丸から男の子までは１０マスあるので、サイコロの中で「１０」になる組み合わせを考えます。



問題49 ひよことヘビがすごろくをしています。じゃんけんで勝った時だけ、サイコロを振って、出た目の数だけ進むことができます。じゃんけんの結果とサイコロの目は、上のようになっています。この時、先にゴールしたのは、ひよことヘビのどちらですか。下のひよことヘビから選んで、丸をつけましょう。



													
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

